

ご依頼医様へ

さいがた医療センター 放射線科

MRI 検査の注意事項

安全に検査を行うために以下の注意事項のご確認をお願いいたします。

■ 禁忌事項について

次の項目に該当する患者さまは原則当院で MRI 検査を受けることができません。

依頼する前に必ず該当の有無を確認してください。

今までに**体内電子装置**を埋め込む手術をしている。(着脱できない**体表装置**も含む。)

例:心臓ペースメーカー・植え込み型除細動器・可変式バルブシャント・脊髄刺激装置・人工内耳・神経刺激装置
インスリンポンプ装置等

磁性体の整形外科用金属、血管クリップ・コイル、1970 年以前の心臓人工弁を使用している。

ステント留置手術を行ってから**8週間以内**である。

その他 **MRI 検査非対応の体内金属**がある。

重度の閉所恐怖症である。

30 分安静にしていることができない。

磁石式歯科インプラントを使用している。

次のものが**検査部位もしくは周辺にある**。

例:刺青・体内置き針・美容金糸・避妊リング・銃弾破片等

■ MRI 造影剤の禁忌について

当院で採用している造影剤の添付文書にある禁忌および原則禁忌に該当する場合は、原則的に検査をお断りいたします。

❖ 禁忌

❖ **造影剤の成分またはガドリニウム造影剤に対し過敏症の既往歴のある患者**

❖ 原則禁忌

❖ **一般状態の極度に悪い患者**

❖ **気管支喘息のある患者**

❖ **重篤な肝障害・腎障害のある患者**

■ 造影剤による副作用に関する危険因子について

次のような患者さまは副作用を発症しやすいため、造影剤の使用ができないことがあります。

❖ **腎機能が低下している。または腎臓の手術を受けたことがある。**

❖ **授乳中である。**

eGFR が $30\text{mL}/\text{min}/1.73\text{mm}^2$ 以下の場合腎性全身性線維症の発症リスクが上昇する可能性があるため、当院ではより安全を期して $45\text{mL}/\text{min}/1.73\text{mm}^2$ を造影剤使用可能な下限としています。

また、授乳中の場合は乳汁中に移行することが報告されているため、造影剤投与後 48 時間は授乳を避けていただく必要があります。